

令和7年10月10日（金）

未来を生きる子どもたちに必要な力とは

ないとうしんいちろう
稲沢北小学校長 内藤 伸一朗

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今、私たちが育てている小学生たちは、これから10年、20年先の社会を生きていくことになります。その未来は、今とは大きく異なる可能性があります。AIやロボットが身近になり、仕事の内容も大きく変わることでしょう。そんな時代を生き抜くために、子どもたちにはどのような力が必要なのでしょうか。

私たちが特に大切にしたいのは、次のような力です。

自分で考え、判断する力（思考力・判断力）

情報があふれる社会では、何が正しいかを見極め、自分の意見を持つことが求められます。

人と協力する力（コミュニケーション力・協働力）

どんなに技術が進んでも、人と人とのつながりは大切です。違う考えを持つ人と協力しながら、よりよい答えを見つける力が必要です。

新しいことに挑戦する力（創造力・チャレンジ精神）

変化の激しい社会では、失敗を恐れずに挑戦する姿勢が重要です。自分のアイデアを形にする力も求められます。

自分を大切にし、他者を思いやる心（自己肯定感・共感力）

心の健康も、未来を生きる力のひとつです。自分を認め、他者を思いやることで、安心して社会に関わることができます。

本校では、これらの力を育むために、日々の授業や活動を工夫しています。例えば、授業の中で、自己判断・自己決定の機会を意図的に設定し、「自分で決めたことができた」と、自信を高めさせたいと考えています。そして、話し合い活動や体験学習、ICTを活用した学びなどを通して、子どもたちが「自分で考え、伝え、行動する」機会を大切にしています。

未来は予測できませんが、どんな時代でも「人としての力」が子どもたちを支えてくれると信じています。これからも、地域の皆さまとともに、子どもたちの成長を見守り、支えていきたいと思ひます。

今後とも稲沢北小学校の教育活動に対しまして、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。